

本年度は以下の日程で開館します。日曜・祝日及び展示替え期間中(カレンダーの無色の日)は休館です。

2019年							2020年						
4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September	10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March		
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
29	30						29	30					
26	27	28	29	30	31		26	27	28	29	30	31	
23	24	25	26	27	28	29	23	24	25	26	27	28	29
16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8

# 伝来品でたどる鍋島家の歴史 — 佐賀藩主から侯爵へ

鍋島直茂公を藩祖、息子の勝茂公を初代藩主として佐賀藩が成立。それ以来、鍋島家は江戸時代の約260年間を通じて佐賀を治め続け、明治維新後は侯爵を授かり、皇室の藩屏となりました。この展覧会では、藩主や姫君たちの直筆の書画や愛用の品をはじめ、鍋島家に伝わった様々な美術工芸品・歴史資料を3期にわたり幅広くご紹介し、鍋島家の歴史をたどります。また、各期ごとに展示室内の一部に特集コーナーを設けます。

第1期 5月20日(日)～7月20日(日)

第2期 8月19日(日)～10月19日(日)

第3期 11月11日(日)～12月27日(日)

● 扇柄地丸紋しし織袴  
江戸時代中期(18世紀前半)



● 能面(若菜女)  
江戸時代(18～19世紀)

● 能面(熊坂)  
江戸時代初期



● 梨子地矢筈輪絵・楳  
文禄5年(1596)/輪絵は18世紀



● 染付繪襷登皿  
有田製 享保11年(1726)



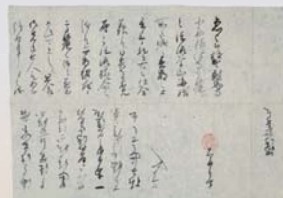
● 「コロの池」岡田三郎助 昭和7年(1932)



● 紅色ガラス菓子器(龍庫切子) 近代



● 右楽紋付グラス類 20世紀初頭



● 鍋島直茂宛て豊臣秀吉朱印状



● 青磁赤繪唐文輪花皿  
鍋島藩製 18世紀前半～中頃



● 連磨・布袋・朝陽図  
狩野探幽画/清康斎清賞 江戸時代前期



● 黒漆塗栗一尊雀  
嘴子文織掛小鼓  
江戸時代



● 鉄絵染付大根文茶碗  
尾形乾山 江戸時代中期

## 鍋島家の雛祭り

2月11日(火)～3月31日(日)

ひなまつり  
期間中は無休  
開館時間  
10時～17時



明治から昭和初期の侯爵鍋島家歴代夫人が愛しんだおひなさまをご紹介する恒例の雛祭り展。古写真をもとに往時の雛祭りになった幅6mと5mの大雛壇は、豪華で品格を兼ね備えています。大雛壇の迫力と御人形の愛らしさ、細やかな雑道具の世界を存分にご堪能ください。

## 「鍋島家の雛祭り」展 期間中の週末のイベント

期間中の土曜・日曜・祝日には、2階にて各種イベントを開催。お抹茶席やお箏の演奏、茶花展示などをお楽しみいただけます。伝統のおひなさまと一緒に、和の文化に親しむ寛ぎのひとつをお過ごしください。



## 佐賀城下ひなまつり

毎年2月11日～3月31日は、当館と佐賀市歴史民俗館を中心に「佐賀城下ひなまつり」が開催され、城下町全体がおひなさまで彩られます。歴史民俗館では、佐賀の伝統工芸である佐賀錦や鍋島緞通、佐賀藩の袴の文様「鍋島小紋」を用いたおひなさまなどを見ることができます。また、周辺の博物館やお店などでも関連の展示やイベントなどをお楽しみいただけます。

### 特集① 皇室と鍋島家



立皇太子御式壹切丸伝進之図(錦絵) 繪斎延一 明治22年

菊御紋入 磁器蓋/南天に雀輪絵印籠  
10代鍋島直正、明治2年(1869)に朝廷より拝領



### 特集② 仙台伊達家からの御輿入れ



黒漆塗三引両敷  
琴箱・和琴・琴柱箱

梨子地九曜散敷  
松橋蒔絵大角赤手箱

梨子地九曜散敷  
松橋山水蒔絵手箱

いずれも7代鍋島重茂室源姫所用 江戸時代中期

### 特集③ 直正公の娘たち—貢姫・宏姫・昶姫



縹平網地松竹鶴亀摺箱  
親姫所用 文久元年(1861)  
背景:貢姫宛て鍋島直正書簡

黒漆塗杏葉紋散唐草蒔絵建・絛  
宏姫所用 江戸時代後期